

リハビリテーションの充実①

回復期リハビリテーション病棟の評価

➤ 回復期リハビリテーション病棟の評価体系を見直し、充実したリハビリテーションを推進する。

【現行】

| | |
|--------------------|--------|
| 回復期リハビリテーション病棟入院料1 | 1,720点 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料2 | 1,600点 |

【改定後】

| | |
|-----------------------|--------|
| (新)回復期リハビリテーション病棟入院料1 | 1,911点 |
| (改)回復期リハビリテーション病棟入院料2 | 1,761点 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料3 | 1,611点 |

(注)重症患者回復病棟加算については、入院料に包括して評価を行う

[施設基準]

| | (新) 回復期リハビリテーション病棟入院料1 | 回復期リハビリテーション病棟入院料2 (旧1) |
|--------------------|---|------------------------------------|
| 看護配置 | 13対1以上 | 15対1以上 |
| 看護補助者の配置 | 30対1以上 | 30対1以上 |
| その他の職種の配置 | 専任医師1名以上、専従理学療法士3名以上、 作業療法士2名以上、言語聴覚士1名以上、 専任社会福祉士等1名以上 | 専任医師1名以上、専従理学療法士2名以上、 作業療法士1名以上 |
| 在宅復帰率 | 7割以上 | 6割以上 |
| 新規入院患者 | 重症患者が3割以上 看護必要度A項目1点以上の患者が1割5分以上 | 重症患者が2割以上 |
| 重症患者の退院時日常生活機能評価 * | 4点以上改善している患者が3割以上 | 3点以上改善している患者が3割以上 |

* 重症患者回復病棟加算の包括化に伴う要件